

# おごせ 教育 Pick Up

## 平成30年度 学校教育プラン

越生町教育委員会では、「教育のまちおごせ」を目指し、平成30年度の学校教育プランを次のように定めました。

### 1 確かな学力の育成

- 2学期制や土曜授業日の特色を最大限に活かして、新学習指導要領に示された授業時間を十分に確保し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を推進します。
- 外国語活動や外国語（英語）の指導を強化し、具体的な目標をもって意欲的に学習に取り組めるように指導します。



- タブレット、電子黒板、大型テレビなどを活用した多様な授業を展開し、学習内容の定着と学習意欲の向上を図ります。
- 人前で堂々とわかりやすく自分の意見を発表する力を育成するため、授業を核として指導の充実を図ります。
- 35人学級以下の学級できめ細やかな指導を行います。
- 越生小学校と梅園小学校との合同行事（校外活動、授業等）を行い、連携を図ります。

### 2 豊かな心の育成

- 不登校の解消に向け、スクールカウンセラー、さわやか相談員、スクールソーシャルワーカーや関係諸機関との連携

を図ります。

- いじめを許さない意識の醸成と人権を尊重した教育を推進します。
- 道徳の教科化（小学校は今年度から、中学校は来年度から）の趣旨を活かし、より一層道徳教育を充実させます。
- 越生町ならではの地域の教育力を活用した体験活動に取り組みます。

### 3 健やかな体の育成

- たくましさや粘り強さを養う体育活動を推奨します。
- 生活習慣の改善や課題に向けた取組の強化を図り学校体育活動を推進します。
- 学校給食を核に家庭や地域と連携して望ましい食習慣の確立を図り、食育を推進します。

### 4 学習環境の整備や時代の変化に対応する教育の推進

- 安全・安心で快適な学校を目指し、施設・設備の計画的な改修を図ります。
- ICTを活用した情報活用能力の育成のための環境を計画的に整備します。
- 英語教育の改革など学習指導要領改訂に向け、計画的に準備していきます。

### 5 質の高い教育を推進するための教職員の育成

- 課題の発見・解決に向けた授業が実践できる指導力を身につけます。
- 越生小学校、梅園小学校、越生中学校の3校が、「知・徳・体」の9年間を見通した小中一貫教育を推進します。
- 全教職員を対象に3校合同研修会を実施し、テーマに沿った研修を実施します。

### 6 越生町「3つの④」の推進

- 越生町・越生町教育委員会が推進する「3つの④」を励行します。

### 7 学校運営協議会（コミュニティースクール）の設立

- 学校・家庭・地域がさらに一体となった教育を実現するための組織づくりに努めます。
- PTA活動を支援し、保護者と教職員の連携のとれた活動を推進します。

### 8 家庭教育支援体制の充実

- 学校と家庭が協力して児童生徒の基本的な生活習慣や家庭学習習慣の確立を目指します。
- 子ども大学越生（第2期）

やサマースクールを実施し、地域の教育力を生かした越生町ならではの学びの場をさらに充実させます。

### 9 児童生徒の安心・安全の確保

- 通学の安全のため、ヘルメットの着用を奨励します。
- 通学路の危険箇所を点検し、関係各課と連携を図りながら安全を確保します。
- 情報モラルを身につけさせ、適切に活用できるようにするための学習活動を充実させます。
- スクールガード（見守り隊）の協力や子ども110番の家との連携を図り児童生徒の安全を図ります。
- 学校ごとに活用できる「一斉メール配信」を導入し、防犯情報などを適時適切に保護者に周知できるようにします。



# 越生浪漫

No. 111

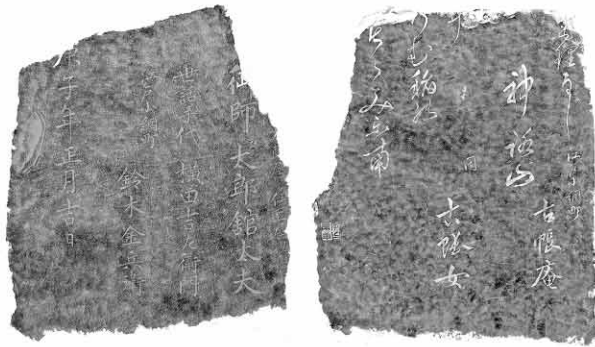
## 伊勢路の古帳庵句碑



この句碑の存在は、平成15年11月に、群馬県伊勢崎市の故長島勝也氏が教えてくださいました。先ごろ、ようやく念願がなつて、現地を訪ねる機会を得ました。泉下の故人に心より厚く御礼申し上げ、概要を報告させていただきます

◆句碑は、伊勢神宮の東方朝熊ヶ岳に鎮座する金剛證寺の参詣道宇治岳道に立っています。『伊勢音頭』に「お伊勢

宇治岳道に立つ古帳庵・古帳女句碑 (三重県伊勢市宇治館町)



句碑拓本 (左：裏・右：表)

参らば朝熊をかけよ 朝熊かけねば片参り」と唄われる金剛證寺は、伊勢神宮の奥の院として厚く信仰されてきました

◆石材は根府川石で、上半と左端を欠き、現存地上高は74cmです。長島氏のご先祖が、安政4年(1857)に記した「伊勢参宮見聞録」に表側の碑文が筆写されており、欠失部分を知ることができません

◆碑表左の落款は、古帳庵句碑16基すべてを揮毫した能筆正木龍眠の印です。並記されていた宮龜年の名は、江ノ島の江島神社と四国金刀比羅宮の句碑にも見え、他の13基も

裏  
石問屋 伊豆屋與兵衛  
御師 太郎館太夫  
世話手代 横田吉左衛門  
江戸小網町 鈴木金兵衛  
《天保十一》庚子年正月吉日

〈東都 龍〉眠書印  
〈宮龜年刻〉

同 古帳女

〔昇る日〕に  
〔露〕のむ稻の  
はらみかな

〔鶯の声く〕もりなし

神路山《※神宮の山城》  
江戸小網町 古帳庵

【碑文解説文】  
表(鶯の声く)もりなし

この名工が手掛けたと推定されています

◆碑裏の伊豆屋與兵衛は江戸霊岸島南新川の石問屋で、この碑と同年月日建立の千葉県佐倉市の句碑にも名前があります

◆御師、別名太夫は伊勢神宮の下級神職で、各地を回り、お札や伊勢暦を配つたり、伊勢講の世話をし、伊勢参りの際には自邸に泊めて案内するなど、今日の旅行代理店のな役割も担っていました。全盛期には千軒を超えたと言います。鈴木金兵衛は太郎館太夫の檀家(顧客)で、横田吉左衛門の手引きで参宮したのでしよう。

⑤

※解説文の( )内は長島伊兵衛記「伊勢参宮見聞録」による。《 》内は筆者。

## おごせ 昆虫と自然の館 通信 No.72

### アゲハ

「チョウ目アゲハチョウ科」

アゲハは北海道から南西諸島まで広く分布しています。山地には少なく、人家近くに多いのが特徴です。それは食樹であるミカン科のサンショウやユズ、カラタチなどが人家周辺に多く植栽されていることが関係しています

◆幼虫は4齢までは鳥のフンのような模様をしています。終齢になると緑色に変わります。幼虫に指で触れると、頭から橙黄色の臭角を出し、かなり臭います。この臭いには小鳥に対する防護効果はないようですが、捕食寄生性のハチ(コバチ類)には効果があるようです

◆成虫は4月から羽化し、年4回程度発生します。4月に見られる春型は、6月以降に見られる夏型に比べると小型です。10月にはほとんどの

幼虫が蛹化し、蛹で越冬します。越冬蛹は食樹からかなり離れた板塀や家屋で見られることが多く、食樹で見られることの方が稀です

◆蛹には緑色系と褐色系があり、この色の決定は終齢末期から前蛹期にかけての周辺環境に影響され、周囲の色彩だけでなく匂いも関係しているようです

◆春の成虫はツツジ類やレンゲなどに、夏の成虫はザクロやヤブカラシなどに訪花します。また、晴れた夏の日中には、樹木の周辺を一定のルートで飛行している姿が見られます。このルートは蝶道と呼ばれており、蝶道を飛翔するのは雄だけです。(菓瀬 司)



ブツレアに訪花したアゲハ